GROWTH xPARTNERS GROUP

Growth xPartners グループ報
2019 年 6 月発行

発行人
渡邉 伸一

発行者
グロースエクスパートナーズ株式会社
〒163-0524　東京都新宿区西新宿 1-26-2　新宿野村ビル 25 階

本書の無断複写・複製・転載を禁じます。

毎朝GRILL KONYAが作る当グループ自慢の朝食サービスの一部をご紹介します！和洋中と毎日メニューが変わるので、来週のメニューは何だろうと楽しみです。

（写真提供：原田 英樹）

特集① グループCEOインタビュー

2 **10周年を迎えて**

2018年7月でグロースエクスパートナーズ株式会社は10周年を迎えました。そこで、グループCEOの渡邉さんにIT業界に興味を持ったきっかけ～現在に至るまでのお話をインタビューしました。

特集② キーマンインタビュー

6 **株式会社GxP**
グロース・アーキテクチャ&チームス株式会社

新設分割により誕生した「株式会社GxP」と「グロース・アーキテクチャ&チームス株式会社（通称Graat）」のキーマンに、ミッションや今後の抱負について語っていただきました。

2018年度新卒を紹介

12 **ゆとりだヨ！ 全員集合**

数字から見るGxP

16 **第11期 期末決算情報**

当社の顧問・役員に伺いました！

17 **今号のひと言**

18 **G plus**
社員から社員へ紹介メッセージをつなげます

20 **GxP TOPICS**
GxPグループの出来事や活動の一部をご紹介

22 **GxP GROUP PHOTO!!**
GxPグループの写真のご紹介

24 **G+WEBはじめました！**

グループ会社の呼称を下記省略形にて掲載いたします。
グロースエクスパートナーズ株式会社 → **GHD**、 株式会社GxP→**GxP**、 グロース・アーキテクチャ&チームス株式会社→**Graat**、
グロース・インク株式会社 → **GRI**、 ジーアールソリューションズ株式会社 → **GRS**

特集①

十周年を迎えて

グループCEOインタビュー

2018年7月でグロースエクスパートナーズ株式会社は10周年を迎えました。そこで、グループCEOの渡邉さんにIT業界に興味を持ったきっかけ～現在に至るまでのお話をインタビューしました。

グロースエクスパートナーズ株式会社
代表取締役
グループCEO
渡邉 伸一

1969年山梨県出身。食品会社やIT企業の経営参画を経てその後独立し、2008年にグロースエクスパートナーズ株式会社を設立。趣味は車と愛猫と遊ぶ事。一番の楽しみは食事会や飲み会での社員との交流。

「こんな凄い商売があるのか!?」と、衝撃を受けましたね。

若造がちょちょいと作業して300万

私がIT業界に興味を持ったのは26歳頃です。当時、私が働いていた会社で300万ほどかけて工場の既存システムを改修することになったのですが、担当者としてきたのはどう見ても自分より若い20代の男性ひとり。こんな若造で大丈夫かなと思っていたら、彼は2~3時間パソコンで作業をしただけで帰っていきました。もしうちの工場が300万の利益を作ろうと思ったら、何人もの人が携わらないといけないのに、あんな若造がちょちょいと作業をしただけで300万もとるなんて、「こんな凄い商売があるのか!?」と、衝撃を受けましたね（笑）。これが私がシステム開発に興味を持ったきっかけです。

迷わず足を踏み入れたIT業界

ある日の新聞に、山梨のIT企業が店頭特即銘柄の株式公開第1号になったという記事が掲載されていたんです。山梨県にそんなすごい会社があることに驚いた私は、偶然発見した同社の求人広告を見て、すぐに面接に行ってしまいました（笑）。結果は即採用で、その日から私はIT業界に足を踏み入れることになったんです。

自らコードも書いていた営業企画時代

同社で営業企画職としてスタートを切った私ですが、システム開発については素人同然でした。ですが、前職で会社役員を務めていた経験があったので、経営者目線でお客さまと業務改善の話ができるという強みを評価していただいてましたね。はじめのうちは私の技術力を見限ったエンジニアがシステム開発をしてくれないこともありました。「それならばエンジニアには頼らない！」と、自らコードを書くこともありましたよ。それも今となってはいい思い出ですね（笑）。

猛反対されましたが、勝手に東京行きを決めました。

反対を押し切って東京進出

たしか日本でWindows95が販売された頃だったと思うのですが、山梨で一番大きなホームセンターのシステム開発を同社で手がけたことがきっかけで、雑誌の取材や大企業からの問い合わせが一気に増えたんです。それでも私も東京と山梨を頻繁に行き来するようになってきたので、思い切って東京進出を決めました。そんなことを勝手に決めて、役員たちからは当然猛反対をされましたが、さっさと新宿にオフィスを借り、部下一人を連れて独断で東京支社を立ち上げてしまいました。しかも、いきなり60坪もある広いオフィスを借てしまったので、社員が少ないうちは、お客様に技術指導をすることを条件にシェアオフィスという形でフロアの一部をお貸しすることで切り盛りしていましたね。

東京支社の事業部長として奔走する日々

2001年頃に同社のフレームワークが日経コンピュータで取り上げられたことで、東京支社の案件もぐんと増え、社員数も数年で50人を超えるまでに急成長していました。私は東京支社の事業部長として奔走する日々を送っていたのですが、2007年に同社が敵対的TOBを仕掛けられる事態になり、それを機に私は思い切って独立に踏み切ることを決意しました。

新たなスタート

2008年7月4日、私を慕って付いてきてくれた仲間たちと共に「グロースエクスパートナーズ株式会社」を設立しました。作りっぱなしのシステムではなく、お客様にとって本当に必要なシステムをとことん一緒に考えられる“戦友”のような会社にしたいという想いを込めて、「お客様と共に成長するパートナー」という社名にしました。

それからあっという間に10年が経ち、ありがたいことに多くのお客様に設立当初から変わらぬお付き合いを続けていただいています。昨年は無事10周年を迎え、過去最高益を記録しました。

これからの10年は次世代にむけて

昨年11月に同社は新設分割により設立した「株式会社GxP」と「グロース・アーキテクチャ＆チームス株式会社（略称Graat）」に事業継承を行い、すでにある4社と共に計6社の持株会社として新たなグループ会社体制に移行することになりました。これからの10年は、グループ会社全体の更なる規模拡大と企業価値向上を目指しつつ、次世代の育成に注力していきたいと思います。人生100年時代、私は今年で折り返し地点に立ちましたが、これからも変化を恐れず、新たな挑戦を続けていきたいですね。

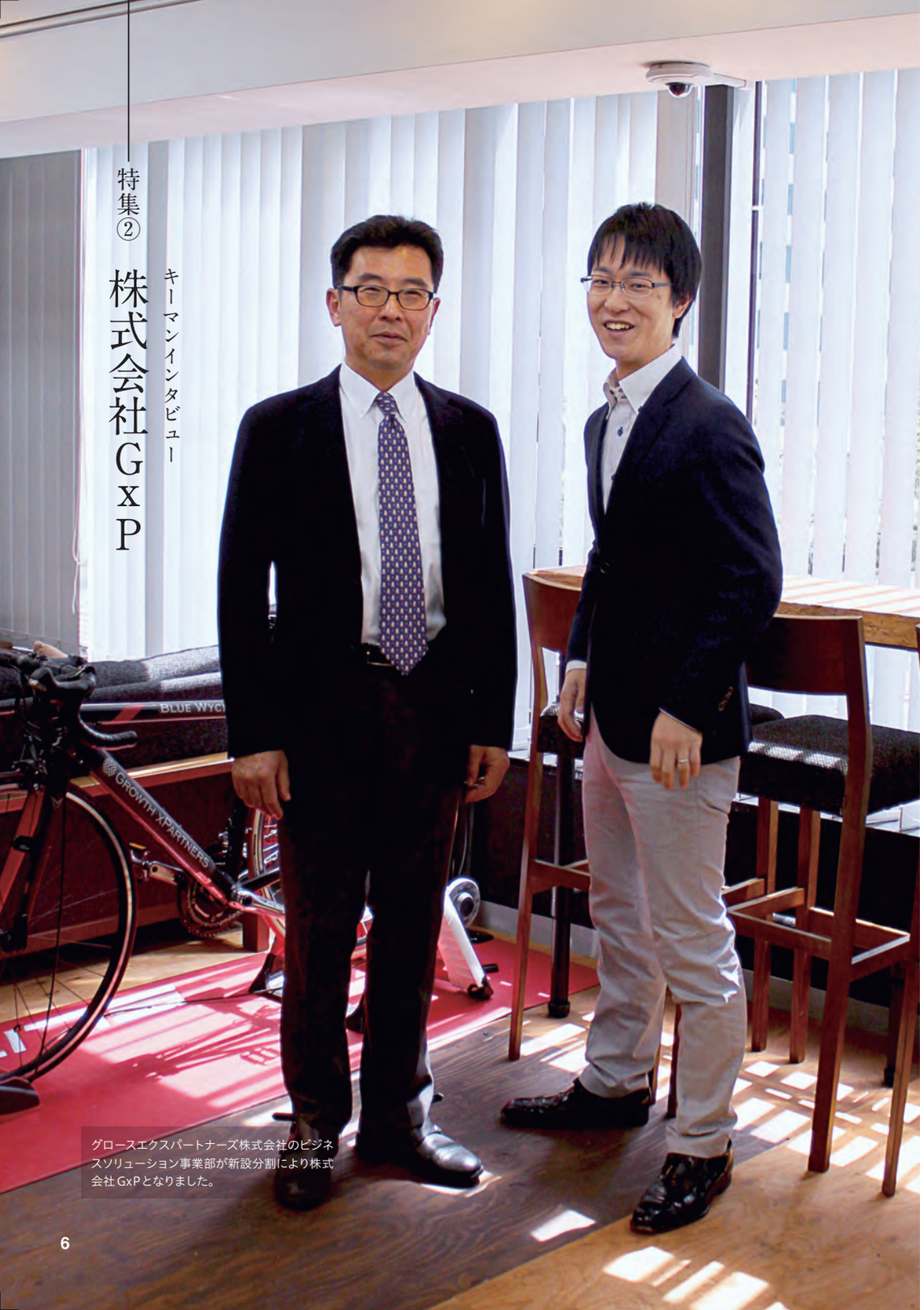
これからも変化を恐れず、新たな挑戦を続けていきたいですね。

渡邉さん個人が挑戦したいことを尋ねたら、「農業がやりたい！」とのこと。いつか自分で育てた野菜で料理を作り、みんなに振舞いたいそうです。

特集②

株式会社GxP

キーマンインタビュー



グロースエクスパートナーズ株式会社のビジネスソリューション事業部が新設分割により株式会社GxPとなりました。

株式会社GxP
代表取締役
河西 健太郎

1963年東京都出身。大手証券会社に勤務後、2018年2月より、グロースエクスパートナーズ株式会社経営企画担当取締役として参画。同年11月より株式会社GxP代表取締役。公認会計士。会社では、テニス部、農園部、バドミントン部に所属。

株式会社GxP
取締役　BS事業本部長
VP of Engineering
安場 直史

1984年三重県生、大阪大学大学院卒。2015年より旧グロースエクスパートナーズ株式会社のアーキテクチャ事業部に加入。アーキテクト、スクラムマスター、ふりかえり推進者、bot職人などを経て、2018年11月より株式会社GxPの本部長兼VPoEに就任。

――GxPのミッションを教えてください

河西　会社の基本的なミッションは今までと変わらず、現状の企業カルチャーを大事にしていきたいと思います。「お客様と共に成長するパートナーでありたい」という渡邉社長の想いはそのまま受け継ぎ、さらに新しい挑戦を増やしていきたいですね。GxPはITでサスティナブルな社会の実現に貢献したいという想いが強いので、お客様のシステム開発を通してGxPができることは今まで以上に積極的に取り組んでいく考えです。

安場　経営層が若返ったこともあり、新しいことに挑戦していきたいという想いは皆強いと思います。私はVPoE（Vice President of Engineering）としてエンジニア組織をより良い方向へ変えていくことをミッションとしているので、エンジニアやチームが抱えている課題の解決に向けて具体的な施策を進めているところです。その第一弾として、従来の案件ごとにプロジェクトチームを結成するやり方を避けて、共通の目標を持った案件に左右されないチーム開発体制にシフトするように働きかけています。案件終了と共にチームが解散してしまう従来の体制だと、チーム独自の文化や手法が醸成せず、ノウハウも分散してしまうというデメリットがありました。さらに一時的なチームでは長期的な視点で成長の場を提供しにくいため、若手～中堅エンジニアのスキル差が埋まらないという問題もありました。

そこで、案件に左右されないチーム体制を取り入れることで、チーム内のプロセスを確立し、継続的な振り返りによりチームの開発プロセスや技術的な改善など、新しい取り組みが生まれる環境作りを進めています。さらに組織全体としても成長できるように、チーム間のノウハウ共有の場を設けたり、ジョブローテーションなどの制度も積極的に取り入れて、定期的に新しい風を入れる施策も考えています。

特にウエルネス経営は積極的に推進していきたいですね。

GxPが継続してお客様の良きパートナーであり続けるために、楽しんで切磋琢磨できる強いチームを作りたいですね。私たちがお客様のビジネス課題を解決することが、サスティナブルな社会の実現に貢献しているという強い信念を持ってこれからも成長を続けていきたいです。

――今後の抱負は？

河西　開発や技術のことについては、安場君はじめ現場の方々が優秀なので、私は社員みんなが楽しく夢を持って仕事ができるような環境づくりや、この会社を次の世代につなげていくためのガバナンスの体制づくりに貢献していきたいと考えています。

昨年よりウェルネス・プロジェクトチームを社内に立ち上げ、社員の心とカラダを健やかに保つための施策を少しずつ始めています。社員が心身共に健康でないと「お客様のことをとことん考える」というGxPのスタンスを貫き、さらに新たなチャレンジに取り組むことができませんから、ウェルネス経営は積極的に推進していきたいです。また、個々のパフォーマンスを最大化するための働き方についても柔軟に対応していきたいですね。

安場　まずは新しい体制を軌道に乗せることが急務ですが、それと並行して新しい技術や業務領域にもチャレンジしていきたいです。GxPが今まで以上にお客様に“最適な提案をする”ためには、新しいことへのチャレンジが欠かせません。時には壁にぶつかることもあると思いますが、自分で試行錯誤して積極的なアクションを起こした経験は将来に確実に活きてくると思います。そういった経験から出来上がった強いチームが、お客様が困った時に何でも相談できる「お客様専用ITチーム」として課題の解決に貢献できるよう、社員一同益々頑張っていきたいと思います。

今まで以上に強いチームを作ってお客様に貢献したいです。

皆で思い切り楽しんで、切磋琢磨したいですね。

部活もね（笑）　by 河西

GxP のチカラで『社会を今より少しでも良くしたい』という共通の想いを語るお二人。親子ほど年の離れたお二人ですが、お互いの意見を尊重し、信頼し合っている様子が伺えました。今後の GxP の活躍にご期待ください。

特集②

キーマンインタビュー

グロース・アーキテクチャ&チームス株式会社

グロースエクスパートナーズ株式会社のアーキテクチャ事業部が新設分割によりグロース・アーキテクチャ&チームス株式会社(Graat)となりました。

グロース・アーキテクチャ&チームス株式会社
代表取締役
鈴木 雄介

1975年東京都生、学習院大学経済学部卒業。2007年より旧グロースエクスパートナーズ株式会社のSI事業のマネージャーとしてグロースエクスパートナーズの設立に参画。その後同社の事業部長を経て、2018年グロース・アーキテクチャ&チームス株式会社代表取締役社長に就任。日本Javaユーザーグループ会長も務める。

目指すのは「しなやかな社会」の実現。

—Graatのミッションを教えてください

私が40歳を過ぎたあたりから、自分の老後や子供の未来を考えるようになったのですが、20年後の日本を想像してみると、果たして未来の日本はITを有効に活用した「しなやかな社会」になっているのか？と甚だ不安になりました。

私の言う「しなやかな社会」とは、社会としての方針は明確であるものの、個々人の状況や考え方に対応でき、それが効率的で無駄がない状態をイメージしています。そして、その実現にはITが社会基盤に組み込まれていることが必要不可欠です。既に日本ではITが社会基盤としてなくてはならない存在ではありますが、その活用は未だ一部に留まっており、しかもその活用度は長く停滞していると感じます。

日本では「部分のIT化」はなされても、「ITを前提に全体を作り直す」取り組みが圧倒的に足りておらず、その原因の多くは、企業や組織におけるIT活用能力の欠如だと私は考えます。20年後の社会を良くするためには、今まさに社会を支えている企業や組織が「ITを前提に全体を作り直す」ことが出来るように本気でデジタル変革に取り組むことが必要なんです。そして、私たちGraatはその支援がしたい。

我々には、新しいチームの活動を、いかに既存の組織/ルール/文化あるいはシステム群と共存し、融合させるのかについて深い経験があります。本気でデジタル変革に取り組む企業において、新しい開発プロセスやアーキテクチャに挑戦するチームを全力で応援、企業全体の変革につなげることがGraatのミッションです。

—今後の抱負は？

「しなやかな社会」を実現するために、日本のシステム業界を変えたいと考えています。新しい開発スタイルを啓蒙することによって、生産性を上げ、システム開発会社と企業の双方を変えていきたいですね。そうした私たちの日々の積み重ねが、日本の未来に大きな意味を持つと信じて、Graat一同全力で頑張ります。

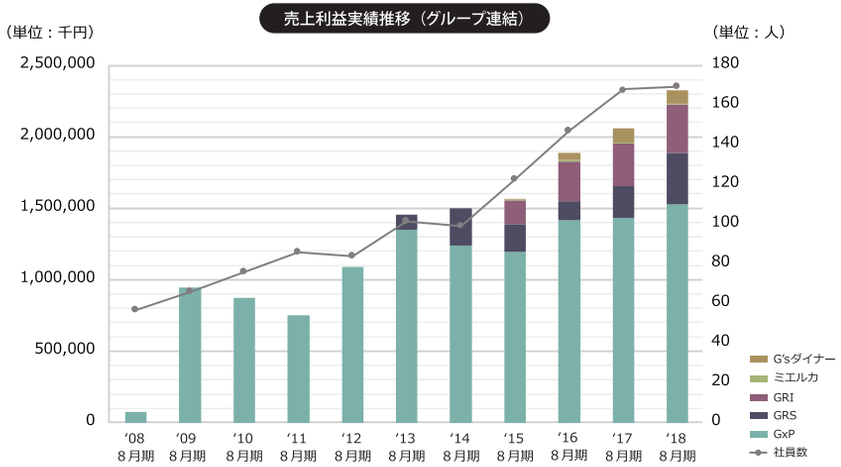
数字で見るGxPグループ

第11期期末決算情報

10周年を迎えた2018年8月に第11期が終了しました。当会計年度における世界経済は、米国の保護主義的な貿易通商政策や、中国習近平体制の強化及び流動的な北朝鮮情勢等、先行き不透明感があるものの、米国と欧州の経済が堅調に推移したことに加え、新興国経済の改善が継続し、全体としては回復基調となりました。

情報サービス産業におきましては、好調な企業収益を背景としたシステム開発投資が堅調に推移することにより、業界全体は緩やかながらも引き続き成長基調にあります。技術やビジネスモデルは、ビッグデータ、IoT（Internet of Things）、AI（人口知能）、Fintech（Financial Technology）、RPA（Robotic Process Automation）等、ITイノベーションの普及浸透により、デジタルトランスフォーメーションが創造される時代を迎え、新たな期待・需要が高まるとともに、企業向けシステム開発についても「所有から利用へ」の顧客ニーズの変化のなかクラウドに代表されるサービス型ビジネスへの転換が進んでいます。

売上利益実績推移（グループ連結）



加えて、「アジャイル開発」を柱とした新ビジネス創出に向けた投資活動も開始しており、当該分野の開発手法を確立するとともに、技術者の育成も積極的に取り組んでいます。

第11期のグループ全体の売上高は2,162,600千円（前事業年度は 1,930,976千円）、経常利益187,422千円（前事業年度は 156,331千円）、税引後当期純利益100,098千円（前事業年度は 91,785千円）となり、売上、経常利益ともに過去最高となりました。

連載企画第４弾!

executive から闘魂注入

今号のひと言

Vol.4

当社の役員・顧問に伺いました!

「健康が会社の財産」

取締役　管理本部長　小野 純一

私達が健康に生活していくための3原則として、「栄養」、「運動」、「休眠（睡眠）」があり、どれかが欠けてしまっても成長や健康のためにはよくありません。

1．体内時計リセットのために、決まった時間に起きて、
　太陽の光を数分浴びる。
2．必ず朝食をとる。
3．決まった時間に三食摂る。
4．夕食は 21 時頃までに済ませる。
5．毎日、定期的に運動する。
6．入浴はきちんと湯船につかる。
7．決まった時間に就寝。
8．真っ暗にして、7 時間寝る。

午後 10 時から午前 2 時にかけての睡眠は、それ以外の睡眠とは比べ物にならないほど健康に効果のある「投資タイム」ともいえます。この時間帯にあわせて就寝することで、ホルモンの分泌や疲労の回復を高め、より健康を保つことができるのです。

将来、年を重ねた自分をイメージして、食や生活のリズムを見直してみてはいかがでしょうか。一人一人が健康であることが、会社の財産であり、当社が存在する社会や日本にとって大きな財産となるように願っています。

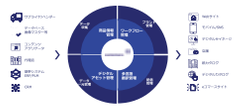
グロースエクスパートナーズ株式会社
取締役 管理本部長
小野 純一

昨年7月に、グロースエクスパートナーズが設立して10年を迎えることができました。
当初は社員56名でスタートしましたが、今ではグループ全体で200名を超える会社に成長することができました。業績も年々拡大しており、これも社員の皆さんが健康で業務を行っていただいていることが会社の成長に繋がっていると思います。

GxP GROUP TOPICS

当社が参加したイベントの模様や社内の出来事など、その活動の一部をお届けします！

GRS



18/1/18

ミズノContentserv導入をテクニカルパートナーとして支援

スポーツブランドのミズノ株式会社が、グローバルなオムニチャネル商品情報基盤として、コンテントサーブの商品情報管理（PIM）・デジタルアセット管理（DAM）統合プラットフォームの採用を発表しました。GRSはテクニカルパートナーとして本プロジェクトの導入を支援しております。

CONFERENCE

18/6/29~7/1

日本透析学会へ参加

透析療法の医療関係者が集まる「日本透析医学会」に外山 佳祐さんがNIPROブースのスタッフとして参加しました。神原 考博さんが開発した遠隔支援用モバイルアプリや透析支援システムへの顔認証など現場で活用できるシステムの説明・デモを発表し、医療現場視点の意見も伺いました。

GxP

18/12/06

Techtalk LT大会

GxPではトレンドな技術動向を学ぶ場、「Techtalk」を毎月実施しています。12月は普段と趣向を変え「最近興味を持っていること」をテーマに、気軽に発表できる場としてLT大会を開催。16名の幅広い年齢層の社員が発表し、40名程度の参加者で盛り上がりました。次回は半年後を予定しているので、皆さん是非ご参加ください！

Atlassian

18/12/07~

エンタープライズ・アジャイル実践セミナー

Graatでは、アジャイル開発を推進したい方向けに、毎回テーマを絞り座学やワークショップを通してアジャイル導入・推進の「勘どころ」を体験していただける「エンタープライズ・アジャイル実践セミナー」を実施しております。各回、初めての方もリピーターの方も自由に参加いただけますので、興味のあるテーマがあればぜひご参加ください。

GxP

19/01~

SD部スキルアップへの取り組み「Growth US!」

開発プロセスの企画～開発～運用～検証と、IT技術の両面のスキルを磨くべく、実践形式でものづくりを行っています。「リーンキャンバス」「BLE」「Elasticsearch」などを有識者協力のもと学んでいます。これまでのチーム活動で根付いた「改善」と新しいスキルでより価値のあるソリューションを届けられるように鋭意活動中です。

GHD

18/9~

朝食サービス開始

当グループでは社員のみなさんの健康のために朝食を無料提供しています。朝食を食べることは「体内時計をリセット」することにつながります。カラダの様々な機能が目覚め、新たな気分で1日をはじめられます。料理はグループ会社のGRILL KONYAで毎朝作られるので、どれも出来たてで美味しい上に、栄養バランスもばっちりです！

ACTIVITY

18/9~

「Microsoft MVP」受賞

マイクロソフトの製品やテクノロジーの豊富な知識と経験を持ち、その優れた能力を幅広いユーザーと共有した人物を表彰する『Microsoft MVP』を大中 浩行さんが受賞されました。講演会やブログ・書籍の出版など、社内外問わない積極的な活動が評価されました。

GHD

18/11~

経営企画部 主催 コミュニケーション企画

11月よりグループ全体でのコミュニケーションを促進させるために、社内イベントを奇数月に実施しています。仕事上ではなかなか接点がない部署・事業会社の人たちとの交流や、中途採用で入社された方に知り合いを作っていただく機会になればと思っています。ちょっとだけ…でも大歓迎ですので、皆さん是非ご参加ください！

DINER

19/1/17

専門学校の非常勤講師として授業を実施

G's ダイナー「GRILL KOYNA」のシェフが、専門学校ビジョナリーアーツフードクリエイト学科の非常勤講師を務め授業を行いました。授業では、調理技術だけでなく正しい器具の選び方・使い方や、現場に立つシェフならではの話も交えつつ、今後の料理業界を担う学生へ熱い想いを語りました。

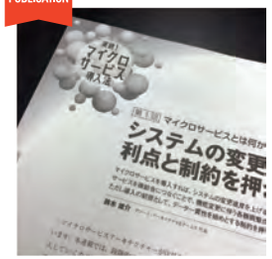
PUBLICATION

19/1/30

大規模スクラム Large-Scale Scrum（LeSS）

高江洲 睦さんが翻訳に携わった著書が出版されました。本書はLeSS導入に携わっているすべての方に、LeSSでのチーム運営方法、そしてLeSS以外で運営されている他の組織との間に生じる問題を解決する実践的なステップバイステップのガイドを提供しています。

PUBLICATION



19/3/30

日経SYSTEMS「実践！マイクロサービス導入法」連載

鈴木 雄介さんが日経SYSTEMS誌2019年4月号より、既存の企業システムをマイクロサービス化していくプロセスや手法について連載を開始しました。第1回は、改めてマイクロサービスとは何かを掘り下げ、システムに与える影響を説明します。

GxP GROUP TOPICS …… 2018/1 — 2019/4

2019.5.13 START

社内外報が
WEB版になりました！

G+ WEB はじめました！

社内外報『G+WEB』は、
GxPグループ各社の社員自身がライターとなり、
“GxPらしさ”を広く多くの方に伝えることを目的として開設いたしました。

グループ各社の情報発信はもちろん、
社内イベントや、社員同士のプライベートな交流まで、
リアルタイムでGxPグループの「今」をお届けしていきたいと思います。

ぜひご覧になってください！

Check out
G+ WEB!!

2019.5.13 START

GxP Group WEB MAGAGINE

GxP Group WEB MAGAGINE

MAP

お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。
GHDは新宿野村ビル25階、GxP、graat、GRI、GRSの各社は新宿野村ビル24階にございます。

所在地

〒163-0524
東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル25階
TEL：03-5990-5423　FAX：03-5990-5424

アクセス

JR・小田急線・京王線
「新宿」駅より徒歩8分

東京メトロ丸の内線
「西新宿」駅　C13連絡通路より地下道直結

都営地下鉄大江戸線
「都庁前」駅　A1出口より徒歩4分

※JR新宿駅西口、都営新宿線・京王新線新宿駅から都庁方面へ地下道を通り、N5番出口をご利用になると雨に濡れずにお越いただけます。

INFORMATION

Growth xPartnersに関する情報はこちらでも発信しております。

CorporateSite

G+WEB

Facebook

Twitter

今号の表紙は各社がバランスを取りながら助けあう様子をイメージして、各社のロゴを使ったモビールを制作しました。屋外で撮影したため、風に揺れてすべてのロゴが綺麗に前を向く瞬間を撮影するのに苦労しましたが、初夏にふさわしい表紙になったと思います。今後もG+ではグループの情報を発信してまいります。次号もお楽しみに！

（チーム「G+」一同）